

兵庫県明石市「山手校区まちづくり協議会」について

(R4. 11. 27 京田辺市区・自治会長連絡協議会視察)

○まちづくり協議会とは（一般論）

地域の生活や暮らしを守るため、概ね小学校区の範囲で、区・自治会、市民活動団体、事業者、大学、PTA など多様なまちづくりの主体によって構成される地域課題解決のための広域的なコミュニティ組織。※主体は地域住民



| | |
|------|---|
| 組織数 | 全国で5,236組織（742市町村） |
| 活動範囲 | 主に小学校区（旧小学校区） |
| 組織形態 | 約86%が任意団体、約7%がNPO法人 |
| 活動拠点 | 約90%が拠点を有している |
| 活動内容 | 地域の具体的な課題・やりたいことに 応じた取り組みを行う 例：高齢者交流・声かけ、青少年育成 子ども安全確保、防犯・防災 等 |

○明石市「山手校区まちづくり協議会」の活動について

・山手校区まちづくり協議会

明石市のほぼ中央。宅地開発や区画整理が進み子育て世代が増加している活気ある小学校区。校区内人口約1万5千人で明石市内においても人口規模が大きい。

・体制・・・総会、理事会（自治会長、各種団体の代表者）、役員会、4部会

・4部会・・・「交流親睦部会」「健康福祉部会」「生活環境部会」「子ども部会」

具体的な取り組み・・・世代間交流グランドゴルフ、防災研修会、スクールガード、買いもん行こカー。近年は役員会のメンバーに若手や女性を起用して「やまてマルシェ」を開催。住民主体の活動を展開。

・まちづくり協議会の利点

自治会以外の様々な組織から構成されているので活力が生まれる。

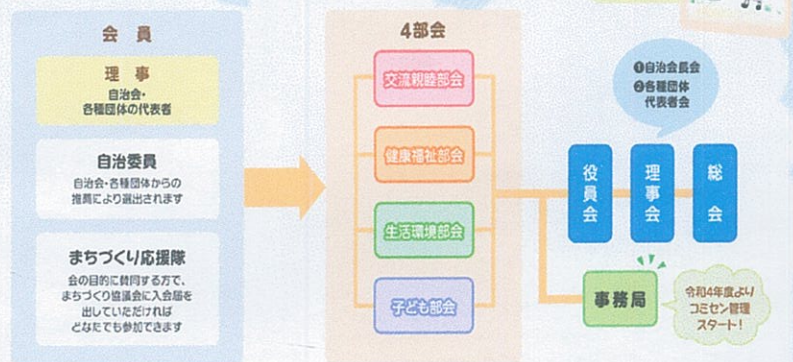
豊富な人材が集まり、住民の多様なニーズに応えることが出来る。

・事務員を地元から雇用し運営をしっかりサポート。（市の補助金を活用）

・各自治会とまちづくり協議会の役割分担

単独自治会のエリア内で済むことは自治会対応、複数の自治会のエリアに跨る場合はまちづくり協議会の対応として棲み分けを行っている。

山手校区まちづくり協議会組織図



4部会の活動

◎部会体制により地域の課題に取り組んで行く

交流親睦部会



山手まつり模擬店のようす (地域間交流)



部会「振返り会」のようす

健康福祉部会



校区健診のようす



部会「振返り会」のようす

生活環境部会



防災研修会 (明石市出前講座)



部会「振返り会」のようす

子ども部会（令和3年に旧安全安心部会を変更）



スクールガード



部会「振り返り会」

行事・取組み



やまてまつり 新年交歓会



総会



やまてマルシェ



アンケート実施（令和3年10月）



第2期まちづくり計画書

